

エコパッケージジトレンド

第6回レポート：フード製品

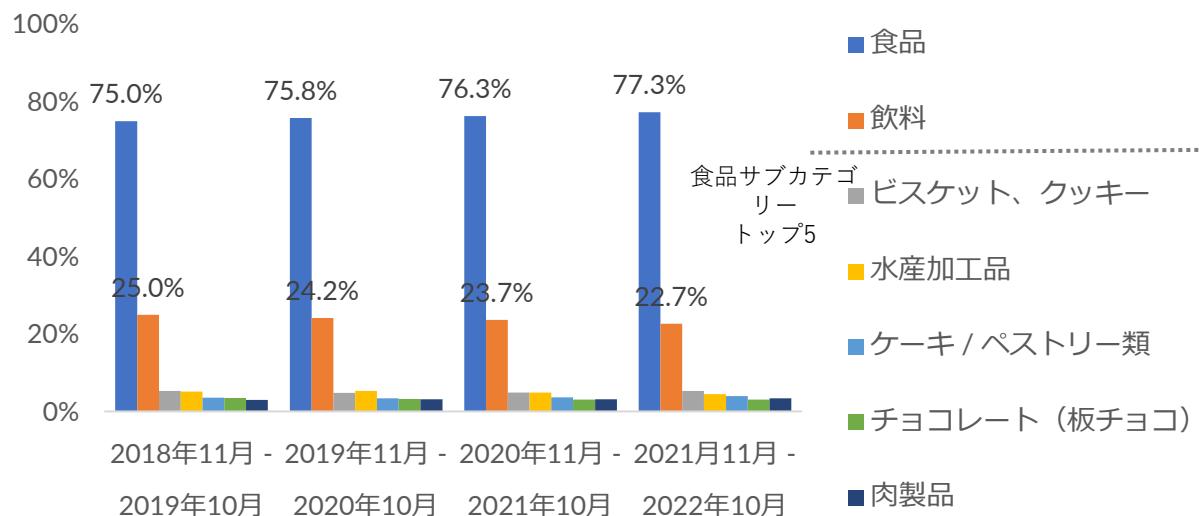
フード製品：サステナブル訴求製品の推移

食品・飲料カテゴリーにおける「エコ・エシカル訴求」の新製品の割合は、食品が約8割、飲料が約2割と食品の方が圧倒的に多い。食品のサブカテゴリーの上位5つに見られるように、菓子類のエコ・エシカル訴求の割合は高く、これらのカテゴリーで持続可能性に注力したパッケージのリニューアルが見られている。食品カテゴリーは栄養機能面や美味しさを表現することがパッケージに求められるが、使用した後の包装や容器の廃棄への関心を促すような強いメッセージや目立つデザインは、ブランドの持続可能性への姿勢を直接アピールすることにもつながるだろう。

グローバル：食品「エコ・エシカル」訴求

サブカテゴリー別 新製品の割合

2018年11月～2022年10月



パッケージング・フットプリントの削減に取り組んでいるブランドは、その努力をパッケージの前面でアピール



GNPD
Warburtons
Plant Power Sliced Wholemeal Bread with Blend of Pulses, Grains and Seeds
(May 2022、イギリス)

黒豆、小豆、赤レンズマメ、カボチャの種、ライ麦フレークなど12種類の豆穀類、種がブレンドされた全粒粉100%パン。ハラール食品でビーガン認証。

プラスチック製から再生紙に切り替える菓子包装

英国および世界中で人気のあるネスレのチョコレートブランド「Quality Street」は、年間25億個のプラスチック製包装紙を埋め立てないことを目指して、同ブランドのプラスチックとホイルの包装を86年ぶりにリサイクルペーパーに変更。新しい「Quality Street」の包装紙は、お菓子の鮮度を保つために特別にデザインされた植物性のコーティングで覆われている。

製品の11種類のうち9種類が紙製包装に変わり、「グリーン・トライアングル」と「オレンジ・クランチ」は既にリサイクル可能であるため既存のホイル包装のままとなる。

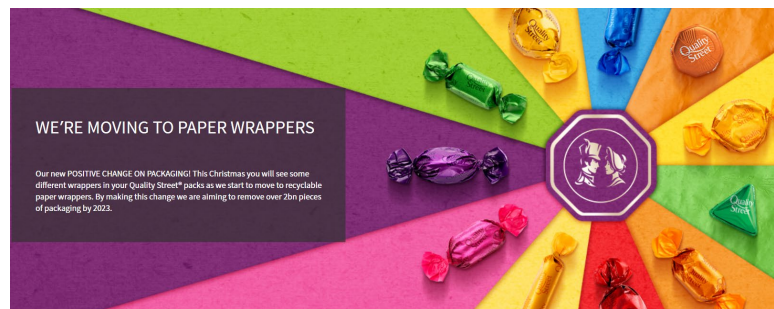
新しい紙包装の完全変更には数ヶ月を要するため、クリスマス時期は新旧の包装紙が混在した状態で缶に収められる。



GNPD



Nestlé Quality Street
Assorted Milk and Dark Chocolates and
Toffees
(Oct 2022、イギリス)



リサイクル可能なFSC認証紙を使用したラップに変更。

プリングルズのキャップがプラスチックからの脱却を目指す

プリングルズの象徴的な「Once You Pop」のプラスチック製の蓋は、プラスチックの使用を削減するために廃止

プリングルズ（オーストラリア）は、同社のコンポジット缶から象徴的なプラスチック製のポップトップの蓋を排除すると発表。53gパックのパッケージがリニューアルされ、プラスチックの蓋が取り除かれ、Sonoco社製のホイルラミネートシールに変更。

フィルムはリサイクルできないが、プラスチックの蓋が無くなったことで、53gパック1個あたりのプラスチックが48%削減され、オーストラリアでは年間推定26トンのプラスチック廃棄物が節約されると、同ブランドは述べている。

同社は、シールリッドは多層ラミネート構造（PET、紙、LDPE、MPET、PE）で構成され、「強度と耐久性の向上」を確保するために多くのテストを実施したことを確認している。

現状は134gのプリングルズ缶はプラスチック製の蓋のままだが、より多くのプリングルズ製品に同様のリニューアルの可能性はある。

69mm幅



Pringle Original Flavoured Savoury Potato Crisps
(Sep 2022、オーストラリア)

2016年からオーストラリアを含むAPAC地域で主に販売されているプリングルズ製品はアメリカの工場からマレーシア工場に変更。これにより製造方法だけでなくパッケージのサイズも変わり、チップスと容器も小型化した。容器に手が入らず取りにくいと消費者からのクレームが顕在化。現在のサイズを維持するとブランドは言及。

GNPD

78mm幅



Pringles Sizzl'n Kickin' Sour Cream Flavour Savoury Snack
(Sep 2022、アメリカ)

アメリカ製造のプリングルズは未だにプラスチック製の蓋を使用中。

食肉ブランドが消費者の環境問題に対応するために責任ある包装を採用

動物性の生鮮食品向け包装においてもプラスチック使用の削減に重点を置いている。これらの商品は直観的に責任感が感じられ、提供された情報に基づいて消費者が(責任ある廃棄など)行動を起こせるようなパッケージにする必要がある。

GNPD



Farmy Roztocza Organic Pork Chops Slices
(Sep 2022、ポーランド)

プラスチックを80%削減したパック。
EUオーガニック認証ロゴが記載。



Bonvalle Minced Beef
(Aug 2022、オーストラリア)

300g入りの牛ひき肉用の報道がリニューアル。
トレーからフレキシブル包装に変更し、プラスチックを65%削減。

パッケージデザインを刷新し、カーボンニュートラル チーズを発売

2022年6月までの12か月間に、チーズを食べたり購入したイギリスの消費者の26%が、「環境への懸念から摂取量を制限・減少させた」と回答しており、そのような取り組みは確実に正当化される。

しかしこの概念はまだ限られた関心しか持たれておらず、チーズの環境負荷低減に関する認知を促進する必要がある。

サマセットを拠点とするチーズメーカーのWyke Farmsは、2021年11月に新しいパッケージをデビューさせ、主要製品のリブランド化の一環として新しいデザインとプラスチック使用量の削減を紹介。

新しい要素として、サマセットの風景と「愛情を込めた英国の牛乳を使用」という新しいタグラインがある。

また「100% グリーン エネルギー」のロゴとともに、「プラスチックを35%削減」という主張もあり、ブランドの持続可能性を前面に押し出している。



[Wyke Farms](#)
[Extra Mature Somerset Cheddar Cheese](#)
(Aug 2022、イギリス)

“Lovingly Made in Somerset with British Milk”
「愛情を込めた英国の牛乳を使用」

持続可能性をイノベーション計画の中心にシフトする欧州のヨーグルトメーカー

ヨーロッパのヨーグルト新製品の環境に優しいパッケージおよびリサイクルの訴求は、全体の2割から3割程度の間で直近2年間ではほぼ横ばいである。ポーランド消費者の61%が「持続可能なパッケージのヨーグルトにもっとお金を払う価値がある」と答えており、乳製品の環境負荷への影響の懸念が高まっている中で、ヨーグルトメーカーもパッケージと素材の両方における持続可能性は無視できない要素となっている。



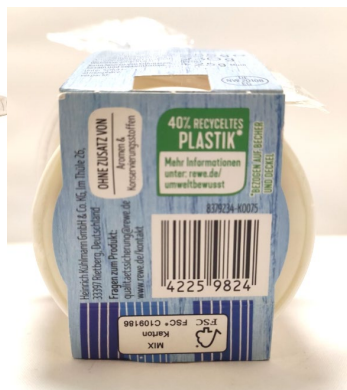
The Collective Great Dairy
Strawberry & Vanilla Yogurt
(Oct 2021、イギリス)

英国初のカーボンニュートラルのヨーグルト。サステナビリティ コンサルタント会社である Climate Partner との協力しブレンドヨーグルトの精算で発生する炭素排出量を相殺。100%リサイクル素材の容器で、2025 年までにカーボンニュートラルなビジネスになるという同社の使命の「最初の大きな一歩」を告げている。



Rewe To Go
Greek Style Yogurt Breakfast Cereal
(Nov 2021、ドイツ)

40%のリサイクル可能なプラスチックで作られたパック。この製品は、ヨーグルト 230g、ミューズリー 25g、および再生可能な原材料（ドイツ製）で作られた生分解性のスプーンが付属されている。

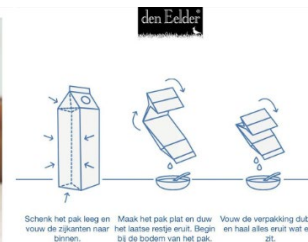


Den Eelder
Boeren Volle Yoghurt (Farmer's Whole Yogurt)
(Jun 2022、オランダ)

リサイクル可能でカーボンニュートラルな1Lパックにリニューアル。最後の一滴まで絞れるように設計されており、正面のFSC MIXのロゴとゴールドのCum Laude Award 2020 が特徴。

自己生産のグリーン電力で生産されており、メーカーは、動物に最高のケア、健康的な食べ物、自由を提供し、生物多様性をサポートすると主張。

GNPD



「オランダの乳製品パックにおける廃棄量は1世帯当たり14パック。容器を正しくたたんで、無駄を防ぐことができる」

[Den Eelder@Facebook](https://www.facebook.com/deneelder)